

公共政策学科目領域 教育課程の編成及び実施に関する方針

卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針
構成要素 (コンピテンス)	能力 (コンピテンシー)	
豊かな教養・知識に基づく高い倫理観	〔DP-1〕 社会人として必要な教養と社会科学の知識を修得し、法令遵守の精神と高い倫理観に基づいて、自らの使命・役割を果たすことができる。	〔CP-1〕 共通科目と総合科目の学修を基礎に、専門基幹科目と専門展開科目の系統的学修を通じて、教養と総合的な社会科学の知識と現代社会における公的セクター、私的セクターの役割を説明できる能力を持ち、公共空間で自らの役割を果たすことのできる人材（公務員、公益法人職員、公益関係民間企業職員等。以下同じ）を養成する。
日本及び世界の社会システムを理解し説明する力	〔DP-2〕 日本及び世界の法、政治、行政、経済及びジャーナリズムの仕組みと、それが直面している問題を理解し、説明することができる。	〔CP-2〕 共通科目と総合科目の学修を基礎に、専門基幹科目と専門展開科目の系統的学修を通じて、日本及び世界の法、政治、経済、行政の仕組みとそれらが直面している問題の本質面を理解し、説明できる能力を育成する。
論理的・批判的思考力	〔DP-3〕 社会科学の基礎的知識を基に、論理的、科学的、合理的かつ批判的な考察を通じて、新たな「知」の創造に寄与することができる。	〔CP-3〕 専門基幹科目と専門展開科目において、公共政策に関する基礎的知識及び政策分析のスキルを習得することで、論理的、合理的かつ多面的な考察を通じて新たな知見を構築し、社会と人々のためにその知見を提供し、政策形成のプロセスや政策効果を評価できる人材を養成する。
問題発見・解決力	〔DP-4〕 社会・共同体のさまざまな営みに自ら積極的ににかかわる中で、事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。	〔CP-4〕 現代社会を帰納的に理解するための公共政策の理論および情報処理の手法に関する学修と、抽出した問題を構造化するのに必要な演繹的な主体的学修を通じて、公共政策の視点からみた現代社会の問題点に共通する事象を発見し、列挙できる能力を育成する。
挑戦力	〔DP-5〕 法規範をはじめとする社会システムに関する専門的知識を基に、あきらめない気持ちをもって、より良い社会・共同体の創造に果敢に挑戦することができる。	〔CP-5〕 基礎から高度な内容に至るまでの公共政策に関する専門知識を系統的に学修することで、社会システムに関する専門的知識を基に、社会変動に応じたより良い公共の創造と社会システムの構築に挑戦できる力を育成する。
コミュニケーション力	〔DP-6〕 多様な伝統・文化・環境に育まれた他者の気質、感性及び価値観を理解・尊重し、社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを伝えることができる。	〔CP-6〕 必修外国語・選択必修外国語や専門演習関連科目の学修を通じて、他者や社会の多様な価値観とその変化を理解し、社会・共同体の中で積極的にコミュニケーションを実践し、自らの考えを伝える力とともに、国内外においてコミュニケーションがとれる語学力と交渉力を育成する。
リーダーシップ・協働力	〔DP-7〕 社会・共同体のさまざまな活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重し、自らすすんで協働するとともに、リーダーとして協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	〔CP-7〕 ゼミナールなどの専門演習関連科目の学修を通じて、公共領域の課題の解決のために、様々なアクターと協働し、問題の解決に向けた行動計画を作成し、行動できる力と、公共領域における公私協働を実践するために、幅広い教養と豊かな感性を身につけ、協働する相手との信頼関係を構築できる人材を育成する。
省察力	〔DP-8〕 他者からの評価を謙虚に受け止め、自己の活動がより良い社会・共同体の創造に貢献することができたかを振り返ることにより、生涯にわたり、社会人としての自己を高めることができる。	〔CP-8〕 総合教育科目と専門基幹科目の学修及び自らを省みる主体的学修を通じて、自己の活動がより良い社会やコミュニティの創造に貢献できたのかを多面的な意見から振り返るとともに、生涯にわたって社会人として自己の能力の向上を図ることができる人材を養成する。

〔C P〕 カリキュラム・ポリシー：教育課程の編成及び実施に関する方針

〔D P〕 ディプロマ・ポリシー：卒業の認定に関する方針